



欧州ビジネス協会  
在日欧州(連合)商工会議所

# 自動車

主要な問題および提案



# 国際的な車両型式相互承認 (IWVTA)の将来の導入

# 国際的な車両型式相互承認 (IWVTA) の将来の導入

## 年次現状報告：若干の進展

- ❑ 2019年に予定されている日本でのIWVTA制度の導入は、IWVTAは部分的なものではあるものの、日本とEUの間の車両認証の相互承認へ向けての重要な一歩となるだろう。
- ❑ とはいえ、日本は依然、独自の国内規制を維持している。

## 提案

- ❑ 日本は、まだ残っている日本独自の規制を撤廃すべきである。
- ❑ 日本は、欧州委員会と緊密に協力して、IWVTA制度の範囲を拡大し、日本の型式認証制度のすべての要件をカバーするようにすべきである。

Tax

# 税制改革



# 税制改革

## 年次現状報告：ほとんど進展なし

- ❑ 他の諸国と比べ、日本は依然として自動車の購入と所有に過度に重い税金を課している。

### 提案

- ❑ 政府は、自動車所有者の税負担を軽減し、登録された自動車と軽自動車の公平な課税措置を確保するため、自動車税率を引き下げるとともに自動車重量税を撤廃すべきである。
- ❑ 日本の当局は、国際的な成功例に沿って、自動車への課税構造を簡素化し、自動車所有者への全体的な税負担を軽減すべきである。
- ❑ 日本は、環境にやさしい車に関する税優遇策の評価に使用される燃費と排ガスの測定については、EUと足並みを揃えて国際的にハーモナイズされた基準を採用し実施すべきである。



# 軽自動車



# 軽自動車

## 年次現状報告：ほとんど進展なし

- 軽自動車に関する規制面・財政面の特典の存続は小型車との競争を歪める。

## 提案

- 日本は、軽自動車を他の自動車と対等の規制・財政の条件下に置くべきである。



# 自動走行と コネクテッド・ドライビング





# 自動走行とコネクテッド・ドライビング

## 年次現状報告：新たな問題

- ❑ 自動走行技術に関する政府の戦略的イノベーション創造プログラムであるSIP-adusは、2017年9月から大規模実証実験(FOT)を開始する予定である。
- ❑ FOTの目的は、自動走行およびコネクテッド・ドライビング技術に関する国際標準化と研究開発を促進することである。
- ❑ 政府は、こうした技術の配備に対応して、規制と基準・標準を改定・確立することも検討している。

## 提案

- ❑ 日本は、自動走行とコネクテッド・ドライビングに関する規制と基準・標準の国際的整合化を推進すべきである。



# セーフティ・サポートカーS (サポカーS)



# セーフティ・サポートカーS(サポカーS)

## 年次現状報告：新たな問題

- ❑ 日本は、高齢者による交通事故件数の増大を食い止めるための「セーフティ・サポートカーS(サポカーS)」を推進する計画についての報告書を発表した。
- ❑ この計画は、自動ブレーキ装置と、日本で独自に開発中の「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」に的を絞っている。
- ❑ 両方の装置に関する試験手順と評価基準はまだ検討中である。

# セーフティ・サポートカーS(サポカーS)

## 提案

- ❑ 日本は、多岐にわたる先進的安全技術を装備した車を推進すべきであり、日本独自のペダル踏み間違い時加速抑制装置に的を絞るべきではない。
- ❑ 日本は、製造国にかかわらず、すべての車の公正かつ合理的な評価を確保する、ペダル踏み間違い時加速抑制装置の試験手順と評価基準を設けるべきである。
- ❑ 日本は、自動ブレーキの性能を評価する際に、海外のテクニカル・サービスで得られた試験結果、および海外の新車アセスメントプログラムの試験結果を受け入れるべきである。